



千葉県					11/29 13名 ＜研修内容＞ 1.「正しいPPE着脱について」 講義⇒実習 2.「鼻咽頭からの検体採取の方法」 講義⇒（シミュレータ使用）実技 3.質疑応答			
東京都								
神奈川県	7/31 (Smart Amp法)	8/18 (Smart Amp法)	9/1 (Smart Amp法) (各日1日2回) これまでに53名					「自施設でのOJTが不可能」申請者に鼻腔・咽頭からの採取ならびにPPE脱着の研修をこれまでに2回のOJTを実施
	8/20 (RT-PCR法)	8/25 (RT-PCR法)	8/27 (RT-PCR法)各回5名計15名					
	8/26 (LAMP法)	これまでに計5回受講者22名						
富山県	1施設2名参加原則、全6回合計23名 10/16 (第1回) 10/17 (第2回) 同研修内容	10/23午前 (第3回) 同研修内容 10/23午後 (第4回) 同研修内容	10/24 (第5回) 同研修内容	11/14 (第6回) 同研修内容	11/28 18名 ＜研修内容＞ ①新型コロナウイルスの基礎知識 ②PPEの重要性についての基礎知識③ PPE着脱実習 ④検体採取時の基礎知識 ⑤検体採取実習 ⑥質疑応答			【PCR研修内容】 講義①核酸抽出についての基礎知識（10分） ②核酸抽出における注意事項（10分） 実技③RNA抽出、RT-PCR実習（150分） ④質疑応答
石川県					9/12 46名（WEB講習修了者13名、指定講習 会修了者33名）2部構成 ＜研修内容＞ ・「検体採取のための一連の手順」動画による解説説明。 ・グループに分かれ実習（シミュレータを用いる） ・PPEの着脱実技			
岐阜県	9/7 三密を避けるため受講者を絞り、 オンライン基礎研修修了者55名のうち 5名参加	9/8 オンライン基礎研修修了 者55名のうち 5名参加	9/14・15・28・29 計4回同様の研 修会を予定している					＜研修内容＞ 病原体検出マニュアル2019-nCoVVer.2.9.1に従って ・PPE着脱方法・検体採取と保存・材料、機器、器具及び試薬、操 作上の注意・RNAの抽出・TaqManプローブを用いたリアルタイム RT-PCR法による遺伝子検査・検査結果の判定・精度管理・試薬調 製
(機器新設コース)	10/25 11:45～15:30 9名 ①講義「核酸増幅法における注意点」 ②LAMP法実習 抽出・測定の説明 ③他検査法の紹介				11/29 8名 2部制 (4名×2班に分けた) ＜研修内容＞ (自施設で実技指導を受けられな い方のみ) 講義：諸注意事項の説明 実技：①正しいPPE着脱実技 ②検体採取の模擬研修 ビデオ講習：新型コロナウイルス の基礎知識と検体採取諸注意の復 習			
静岡県 (行政支援コース)	10/25 10:00～16:20 12名 ①講義「咽頭拭い検体採取からRNA抽出に ついて」 ②Real-time PCRへのアプライ及び実習 ③コロナPCR検査の説明、機器・器具取り 扱いについての講義（虚学） ④唾液検査処理からReal-time PCRへのア プライ及び実習 ⑤Real-time PCRの結果解釈講義（虚学）							本研修会は翌10月26日の静岡新聞朝刊に掲載されました。
愛知県	11/15 23名 ①講演「県内の感染状況と行政の取り組 み」愛知県保健医療部 ～大参事徳氏より ②実技 PPE・N95マスク着脱方法、鼻腔・ 咽頭からの検体採取、LAMP法、RT-PCR法 について核酸抽出及び核酸増幅の手順を体 験				10/11 (会員2名非会員3名)講 義、参加者間での実技・PPE着脱 講習会実施			11/15PCR研修会の様様が翌11/16「中日新聞（三河版）」に掲載 メディカルテストジャーナル12月中旬掲載予定
三重県	11/15 14名(午前7名/午後7名) 講義「COVID-19の遺伝子検査の基礎」 実技「RT-PCR実習 試薬調製・核酸抽出・ 増幅行程・結果判定の見方を体験」 情報交換				10/18 10名 ①スライド使用した基礎講座 ②PPE着脱とシミュレータでの実技 ③リアルタイムPCRのポイント リアルタイムPCRのハンドブックに ついて			11/15 PCR研修会の様様が翌日11/16「中日新聞」「伊勢新聞」に掲載 【研修内容】 ①オリエンテーション ②COVID-19に関する遺伝子検査の基礎について（40分） ③PPEの正しい着脱方法 ④検体採取と保存方法 ⑤RT-PCR実習 ⑥各メーカーの試薬、機器の概要説明
福井県								
滋賀県	8/1 滋賀県との共催 講師、実務委員含め計49名 情報共有をかねた講演 「核施設のPCR検査体制現状」「意見 交換会」	8/22 PCR(LAMP法)13名 PPE着脱実践、検体は陽性コ ントロール、陰性コントロール を用いた。	8/29 行政支援コース 12名 ①喀痰処理方法・RNA抽出方法 PPE着脱実践、検体は陽性コ ントロール、陰性コントロール リアルタイムPCRのポイント リアルタイムPCRのハンドブックに ついて		8/1 県内における「検査体制と動 向調査」について講演			8/22 検体採取15名 ・N95マスクのフィットテスト ・PPE着脱方法の説明 ・検体採取の実技 ・有熱外見の見学

京都府	6/14（基礎編）と題して21施設から50名が参加	6/29,7/3,7/8（実技編）基礎編の受講者、各日定員10名			6/14（基礎編）と題して21施設から50名が参加	6/29,7/3,7/8（実技編）基礎編の受講者、各日定員10名	
大阪府	11/7 大阪府との共催（原則1施設1名）（RT-PCR検査法） 実技研修コース 15名 オブザーバーコース16名	第2回 11/21 同様研修会 実技研修コース15名 オブザーバーコース14名 第3回 11/23 同様研修会 実技研修コース9名（1名欠席）	第4回 11/28 同様研修会 実技研修コース 11名（3名欠席） 第5回 11/29 同様研修会 実技研修コース 7名	第6回 12/12 実技研修コース15名 「核酸増幅検査（LAMP法）実技研修」 ＜研修内容＞ ①講義：PCRとの違いを示し、LAMP法の基本原理 ②実技研修（RNA抽出、反応試薬調整、LAMP法）を行った。			【研修内容】 講義①感染症対策について（30分）②RT-PCRの原理について（40分） 実技研修①スライドプレゼンにて検査の流れ②メーカーから使用する機器の特徴を（試薬・機器）説明③オブザーバーは見学してポイントを確認。実地研修コース参加者は3名1組で実技操作。（120分） ※その後様々な質問、回答、解説を交え、参加者の疑問の解消につながったと思われる。第3回目以降はオブザーバー参加者無し
兵庫県	9/6 兵庫県との共催 Web研修修了者80名中 午前12名午後12名 計24名	今後も同様研修会を計画中					＜研修内容＞ ・核酸抽出について講義（20分）・核酸抽出の実習（50分） ・RT-PCRについて講義（20分）・RT-PCR実習（100分）
奈良県							
和歌山県							
鳥取県					12/12 24名 ＜研修内容＞ 産学①県内における検査体制について 実技①正しいPPE着脱 ②シミュレータを用いた検体採取		12/13 本研修会の様子は新聞掲載された。
島根県							
岡山県							
広島県							
山口県	9/5 123名（他職種含め） ①県内における検査・稼働状況体制の現状説明 ②PPE着脱、シミュレータ使用のうえ検体採取手技指導 ③検体輸送の基礎講義 ④主観上の注意点や工夫について講演	10/31 第1回と同様の内容で開催予定					
徳島県	10/10 徳島県との共催 基礎研修修了者/自施設においてPCR検査の立ち上げに従事する会員28名 ・県内の検査実績医療提供体制についての報告・意見交換 ・PPE着脱・検査環境の消毒方法						
香川県							
愛媛県							
高知県							
福岡県							
佐賀県							
長崎県	9/12 希望者23名の中から10名 ・PPE着脱方法・検体の取扱い ・検体処理、PNA抽出・試薬調整・TaqManプローブをもちいたリアルタイムRT-PCR法による遺伝子検査						PCRの合同に当会の佐々木大介遺伝子研究班班長より、各検査機器の特徴や利点、PCRとLamp法のそれぞれのメリット・デメリット等、詳細な内容の講義もしていただきました。
熊本県							
大分県							
宮崎県							
鹿児島県	9/13 鹿児島県との共催WEB研修修了者40名中、27名に対し最新機器の原理と機器紹介、PPE着脱講習				9/13 鹿児島県との共催 鼻腔については“痛くない手技”唾液採取については採取上の注意事項の確認		
沖縄県	7/19 9名の参加者→修了証発行	日付不明 12名	9/27 11名 各自採取した唾液を検体として、検体処理、核酸抽出、PCR反応までの一連操作の研修				